

# 図書館通信

# 96

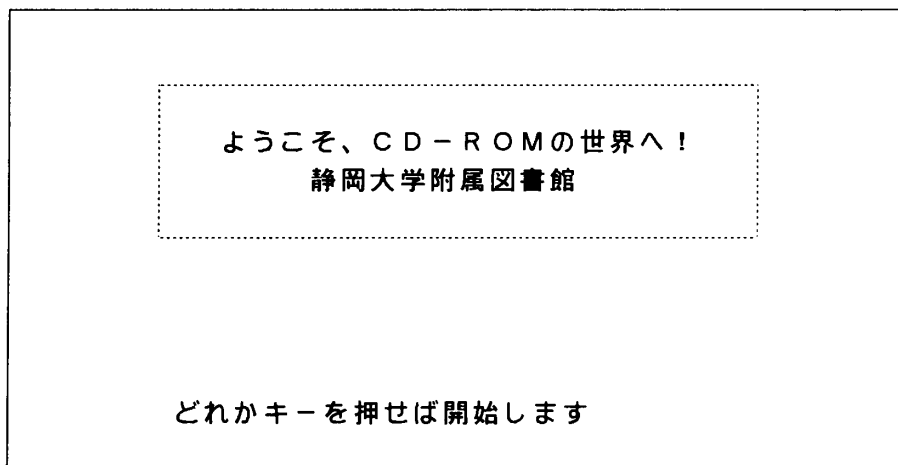
1991. 7

## ■ 特集 ■

# 使う！ CD / ROM

★〈学術雑誌総合目録〉を例にして・・・

図1



ここ何号かにわたって、CD-ROMについて述べてきた。この3月には、教育研究特別経費で購入した分についても利用可能となり、一般利用者に開放された。自由にパソコンの前に陣取って心ゆくまで——無料だから——使ってもらえるようになったが、目的に達しない人が少なからず見うけられる。操作の簡便性を心がけたつもりだが、それでもパソコンの宿命で、目的のシステムに入り、ほしい結果を手に入れるには、それなりの手続きが必要。そこでつまずいてしまうケースが多いようだ。

図1は、本図書館のCD-ROMシステムの最初の画面。利用者がその前にすわった時、この画面が出ているはず。ここから、目的とするソフトに至る過程と、到達したソフトの実際の使い方を述べようと思う。

例として使用するソフトは「学術雑誌総合目録」。すでに何度かふれているので本紙の熱心な読者には、繰返しになってしまうが、概略を述べると次のようになる。

- ① 全国の約1,000におよぶ大学図書館、研究機関等で所蔵されている雑誌の総合目録で、冊子体では8冊になるものを、CD一枚に収めている。
- ② 個々の雑誌の所蔵先を調べるのはもちろんのことだが、所蔵先が多い時には、地域指定(東京都、関東地方等)や機関指定(国立大学、私立大学等)が可能。冊子体では、キャンパス単位の表示だった所蔵先が、館室までとなっている等々の電子式ならではの長を数多く備えている。(4ページに続く)

## 図 書 館 雑 感

情報管理課長 中島 通昌

編集委員から、着任に当たっての抱負などを一言といわれたのが4月の中頃でした。着任早々でまだ頭の中は真っ白、前任者から手渡された引継ぎノートを目の前に、当面の懸案事項を頭の中に叩き込むのに精一杯という状態ですから、抱負や展望を語るなどそんな余裕は全くありません。聞けば本誌の刊行予定は7月で、原稿は今すぐでなくてもよいとのこと、それならということでお引き受けしたわけですが、期限については確認もせぬままに二箇月が経過、督促を受けて慌てて筆を執った次第であります。

しかし、この二箇月という期間は、新参の私にとっては本学図書館や学内事情等についての少なからぬ知識を得るための絶好の機会でした。本学図書館の当番による地区協議会の総会と本年度の図書館予算を審議する図書委員会が、いずれもこの4、5月に続けて開催されることになったための準備作業や、また、その間にたて続けに行われた学内各種委員会への出席、概算要求のヒアリング等々はまさに実践による短期特訓ともいべきものでした。そして何よりも、そのお陰をもってあまり的外れなことを本誌に書かずに済みそうなことも大きな収穫ではありました。というわけで以下、このささやかな経験で得た感想と、日頃、大学における図書館というものについて二、三感じていることなどを述べさせて頂くということで責めを果たしたいと思います。

10年前の本誌(第56号、昭56)に、時の豊川館長が「附属図書館のあり方をめぐって」という一文を寄せられています。その中で豊川館長は、大学内での図書館の位置づけについて触れられ、松田図書館情報大学学長の「わが国の状況はあきらかに発展途上国の段階にあり、少なくとも図書館に関する国民的認識の度合い、ことに文教政策のなかにおける図書館の位置づけは極めて低い」という発言を紹介されながら、「学術研究と高等教育のセンターとしての大学の位置づけの中で、図書館のキャンパス内外での社会的地位の低さは、大学近代化のたちおくれの遺産の集中的表現ともいえる」と断じておられます。10年前といえば、かの学術審議会の答申「今後における学術情報システムのあり方について」が出された年の翌年にあたります。学術研究の発展にとって学術情報システムの整備がいかに重要であるか、また、その推進において大学図書館の担うべき役割がいかに大であるかについてもこの答申は明確に指摘するとともに、大学図書館に関するその後の施策に重大な影響をもたらす提言を行っているわけですが、今、このような答申が出されることになった当時の状況と、その渦中で館長職を務められた豊川館長の胸中を思い合わせますと、やはり一種の感慨を覚えざるを得ません。また、ちょうど同じ頃、図書館の開館時間の延長問題が提起され、図書館サービスはいかにあるべきかの典型として図書館、利用者双方に対し厳しい問いかけがなされるという事態が生じましたが、教官、学生、図書館職員がすべて根元のところでは同じ目的を志向しながら、現象としては異なる主張、行動をせざるを得ないという矛盾に苦しんだことも思い起こされます。さきの松田学長、豊川館長両先生の述懐にすべては行きつくということになるのでしょうか。

それはさておき、大学図書館のここ数年の推移を見ますと、このような厳しい状況の中にあいながらも、大筋のところでは着実に進展してきているのではないかと私には思えます。例えば電算化の問題にしましても、当初、予算や人の面でおよそ不可能と思えるような難問が時代の「要請」として私たちの前に突きつけられたわけですが、何とか克服しながらここまでやってきております。本学の場合も例外ではありません。定員削減、予算の伸び悩みなどマイナス要素は数多くありましたが、全学的な理解と協力を得ることによって切り抜けてきました。ここ10年程の図書館の動きを見ましても、苦しい財政事情と人手不足の中でよくここまでやってこれたなという感を深くします。例えば施設、設備の面を見ましても、①ブックデテクション・システムの導入(昭55) ②浜松分館の増築(昭58) ③本館耐震補強工事(昭59) ④本館の書庫増築(昭59) ⑤電算機システムの導入と、その更新・増強(昭62・平元) ⑥視聴覚コーナーの開設(平2) ⑦無人入退館システムの設置(平2) ⑧閲覧室(5F)への空調設備の設置(平2)などが行われています。また利用者に対する直接的なサービスにしましても、①時間外延長開館の実施(本館、昭54) ②大谷地区部局の自然系外国雑誌の集中(昭55) ③附属図書館利用規程の制定(昭57) ④電算機による図書貸出業務の開始(昭62) ⑤利用者用コンピュータ端末による図書検索の開始(昭63) ⑥学内LANを利用したオンライン学内図書検索システムの運用開始(平2) ⑦CD-ROMの設置(平2)などが挙げられます。さらにこの間、業務電算化に対応するための事務組織の整備も行われ、図書館近代化への努力が徐々にではありますが実ってきているように思えます。しかし勿論まだ十分ではありません。例えば図書資料の現状は本学程度の規模からみますと不十分というよりは貧弱とさえいえます。幸い本年度については図書委員会の深いご理解のもと、本館備付資料費の増額をみることが出来ましたが、研究者、学生の要求を満たすにはまだまだ十分とはいえない状況です。また、閲覧室も勉学環境、読書環境の上では必ずしも相応しい状態とはいえないようです。書庫も数年先きには満杯になるようです。限られた予算の中ですべて難しい問題ばかりですが、為し得るところから着実に一步一步改善を進めていくしか途はないようです。さらに、図書館の周囲を見回しますと、完全週休二日制の導入、一般市民への図書館の開放、国際交流に伴う留学生への対応等々、新しく対応を迫られている問題が山積しています。すべて図書館だけでは対応仕切れない問題です。全学の皆様のご理解とご支援を心からお願いする次第です。

### お 知 ら せ

#### ■ 貸出期間の延期

7月1日(月)から8月31日(土)の間に貸し出した図書の返却期限は、9月9日(月)とします。

#### ■ 閉館時刻の変更

7月22日(月)から8月31日(土)までの間、閉館時刻は次のとおりです。

平	日	17:00	
土	曜	日	12:00

(1ページから)

## ■ ようこそ、CD-ROMの世界へ！

1ページの図1を見ていただきたい。「どれかキーを押せば開始します」とある。で、キーに触れると、画面は図2になる。図書館の悪いクセで、新しいサービスを始めると、必ずといってよいほど利用統計をとりたがる。本図書館もその例にもれないのだが、紙などに書かせず、キーを押してもらおう、という次第。学部生なら

図2

```

----- CD-ROM検索前に、利用動向統計調査にご協力下さい -----
*数字で選択して下さい
あなたは？
(1.学生 2.大学院生 3.その他学生 4.教官 5.事務職員 9.その他職員)

CI CU CA SI SU VOID NWL INS REP ^Z
  
```

「1」と入力する。

図3では図書館職員ということから「5」を入力している。

次々に質問事項が現れるので、それに答えていくと図3のようになり使いたいソフトを尋ねられる。本稿の目的にそい「1」を入力する。画面は図4になる。

## ■ 最初の

### <最初の注>

これまでの説明だとこの段階で、「学術雑誌総合目録」の中に入ったと思う人が多いだろう。説明を一つ、意識的に抜かしているからだ。本来

図3

```

----- CD-ROM検索前に、利用動向統計調査にご協力下さい -----
*数字で選択して下さい
あなたは？5
(1.学生 2.大学院生 3.その他学生 4.教官 5.事務職員 9.その他職員)
学部は？9
(1.人文 2.教育 3.理学部 4.農学部 5.工学部
6.教養部教官 7.法短 8.その他教官 9.その他)
学年は？(1-4/教職員は0)0
検索するCD-ROMは？
(1.学術雑誌総合目録 2.JBISC 3.朝日新聞 4.機関六法)
(5.OED 6.青山学院大学蔵書目録)

CI CU CA SI SU VOID NWL INS REP ^Z
  
```

なら、そのようなシステムにすべきだろうが、本図書館のパソコンは、それを可能

とするハードを装備していない。この画面で「2」を入力するためには、パソコンの前に坐る時に、参考調査係にCD-ROMを使うむねをつたえ、使いたいソフトをセットしてもらった必要がある。実は、このセッティングが終了した時の画

```

----- CD-ROM検索メニュー -----
1. 使い方と解説 (印刷マニュアルと同じもの)
2. 検索開始
9. 終了

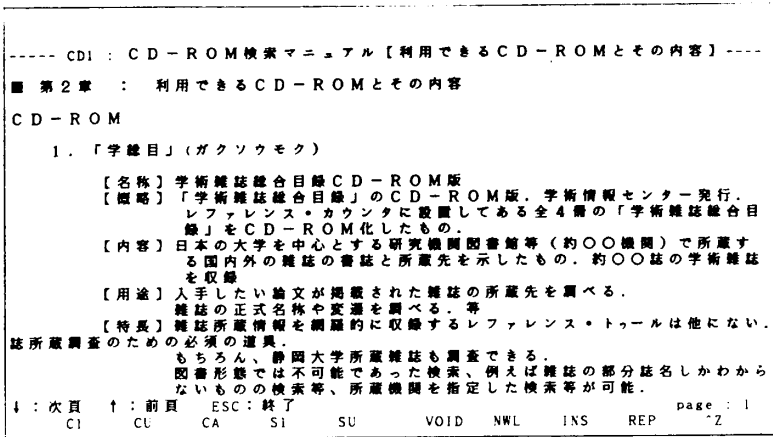
-----
*終了後、アンケートにご協力下さい！
*初めての人は「1. 使い方と解説」を参照して下さい
番号で処理選択して下さい

CI CU CA SI SU VOID NWL INS REP ^Z
  
```

図4

面が図1というわけだし、この時点で既に目的とするシステムの中に入っている。(セッティングしないと、いつまでたっても入れない。)

図5

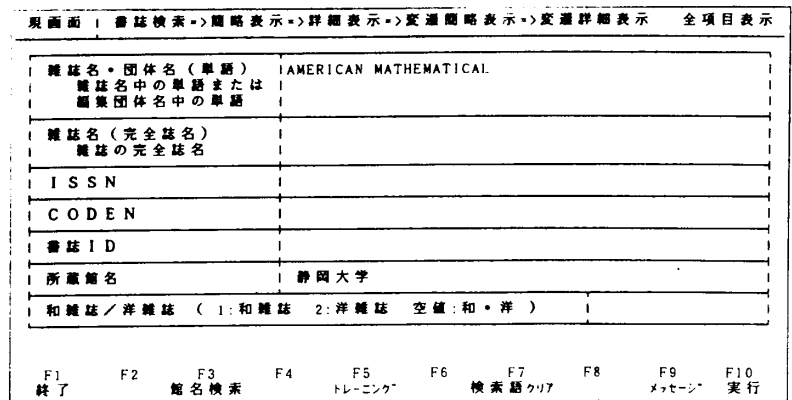


「2」のキーを押して検索に入るまえに「3」を入れてみよう。図5のようなものが現われる。使おうと思うソフトの説明である。1ページに書いた概略よりは、よほど詳しいことが出てくる。「2」を入力して、いよいよ検索。図6が出てくる。一番上の項目を見てほしい。<雑誌名

中の単語または編集団名中の単語>とある。冊子体では雑誌名だけでしか引けないが、ここでは雑誌を作っているところの名前でも検索できる。試しに「AMERICAN MATHEMATICAL」と入れてみる。アメリカ数学学会を念頭においた訳だ。一番下の「所蔵館名」のところには「静岡大学」と入力。本大学で所蔵している雑誌で、誌名または編集団名にAME-

図6

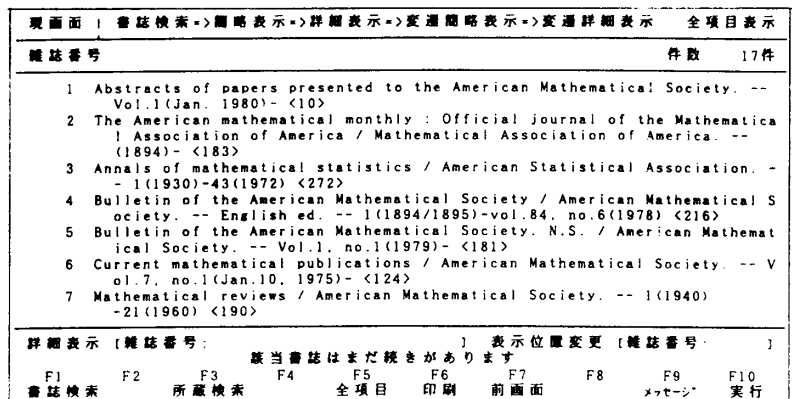
RICAN MATHEMATICALとあるものを探そうという次第。図7がその結果。



右上方に<17件>とあるように、本学には、該当のものが17あり、それがリストアップされる。とりあえず、先頭の7件である。8以降を見たければ「↓」キーを押す。

図7

リストアップの3番目を見てほしい。雑誌名に Mathematical, 団体名に Americanとあるが、数学学会ではなく統計学会の発行のものが出てくる。目的からすれば一般にノイズとよばれているものだが、



メリットがあればデメリットもある、と  
 「↓」キーを押していくと8番目以降の雑誌名が出てくる。(図8) とりあえず11番のものを目的としてみる。

図8

現画面   雑誌検索=>簡略表示=>詳細表示=>変遷簡略表示=>変遷詳細表示 全項目表示		
雑誌番号	件数	17件
5 society. -- English ed. -- 1(1894/1895)-vol.84, no.6(1978) <216> 6 Bulletin of the American Mathematical Society. N.S. / American Mathematical Society. -- Vol.1, no.1(1979)- <181> 7 Current mathematical publications / American Mathematical Society. -- Vol.7, no.1(Jan.10, 1975)- <124> 8 Mathematical reviews / American Mathematical Society. -- 1(1940)-21(1960) <190> 9 Mathematical reviews / American Mathematical Society. -- Vol.25, no.1(Jan. 1963)-58(1979) : 80(1980)- <250> 10 Mathematics of computation / American Mathematical Society. -- 14(1960)- <212> 11 Memoirs of the American Mathematical Society. -- No.1(1950)-no.153(1950) : 1(1975)- <99> 12 Notices of the American Mathematical Society / American Mathematical Society. -- (1954)- <120>		
詳細表示 [雑誌番号: ] 表示位置変更 [雑誌番号: ] 該当雑誌はまだ続きがあります F1 雑誌検索 F2 所蔵検索 F3 所蔵検索 F4 全項目 F5 印刷 F6 前画面 F7 F8 F9 F10 実行		

図下方の「詳細表示 [雑誌番号:]」のところにカーソルがあるはずなので、そこに「11」といれ「F10」を押す。すると図9になる。当大学では、図書館に所蔵されていることが分かる。

図9

現画面   雑誌検索=>簡略表示=>詳細表示=>変遷簡略表示=>変遷詳細表示 全項目表示		
雑誌番号	件数	1件
1 Notices of the American Mathematical Society / American Mathematical Society (AA00758664) (1954)- Providence 1 静大図 13(2).17-32+ <1966-1985>		
変遷テ-9 [雑誌番号: ] 表示位置変更 [雑誌番号: 1] 所蔵番号: ] 該当雑誌・所蔵はすべて表示しました F1 雑誌検索 F2 館室表示 F3 所蔵検索 F4 限定解除 F5 全項目 F6 印刷 F7 前画面 F8 ロ-カル F9 メッセージ F10 実行		

ここまでは冊子体の時と基本的には同じといえるが、以下ではCD-ROMならではの機能。画面の一番下に「F2 / 館室表示」とあるので「F2」を押して頂きたい。ウィンドウが出てきて、その所蔵先の住所、電話番号等のデータ、さらには、その所蔵先が文献複写を受け付けるか、受け付けないか、それを表示してくれる。(図10)

図10

現画面   雑誌検索=>簡略表示=>詳細表示=>変遷簡略表示=>変遷詳細表示 全項目表示		
雑誌番号	件数	1件
1 Notices of the American Mathematical Society / American Mathematical Society (AA00758664) (1954)- Providence 1 静大図 13(2).		
館室表示 雑誌番号 [1] 所蔵番号 [1] 略称 静大図 〒 422 住所 静岡県静岡市大谷836 名称 静岡大学 附属図書館 TEL 0542-37-1111 ID FA002371 機関種別 1: 国立大学 ワ-ビス種別 1: 複写申込を受け付ける		
変遷テ-9 [雑誌番号: ] 表示位置変更 [雑誌番号: 1] 所蔵番号: ] F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 館室表示終了 実行		

冊子体では本館・分館単位でしか表示されなかった所蔵先が学科・研究室単位まで表示される。図11は、その館室表示をしたところ。所

図11

現画面   雑誌検索=>簡略表示=>詳細表示=>変遷簡略表示=>変遷詳細表示 全項目表示		
雑誌番号	件数	1件
1 American speech: a quarterly of linguistic usage / American Dialect Society (AA00758664) (1925)- Baltimore, Md. 1 静大図 1-5 <1 2 静大 養英語 1:1 3 静大 青英語 41:1 4 静大 振振分 32:1		
館室表示 雑誌番号 [1] 所蔵番号 [2] 略称 静大養英語 〒 422 住所 静岡県静岡市大谷836 名称 静岡大学 附属図書館 TEL 0542-37-1111 ID FA002371 機関種別 1: 国立大学 ワ-ビス種別 1: 複写申込を受け付ける		
変遷テ-9 [雑誌番号: ] 表示位置変更 [雑誌番号: 1] 所蔵番号: ] F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 館室表示終了 実行		

蔵先は教養部の英語教室。但し、複写依頼する時は図書館へ、ということが分かる。また、例示の図は掲げないが、所蔵番号4の浜松分館分の館室表示を行えば、当然、そこには工学部の住所が表示されてくる。

■ 便利な機能の

いくつか

図12を見て頂きたい。雑誌番号の15から23までの雑誌の名が並んでいる。年号のあとに<>に入った数字がある。所蔵先の数である。この数が12以下だと、1枚の画面に入り、

何ら問題はないが、例えば、21のように67も所蔵先があると、いく枚も画面を見なくてはならず、面倒なことこのうえない。図13がその最初の12の所蔵先を表示しているところ。

画面の一番下に「F3/所蔵検索」とあるのに注目。「F3」を押すと現われるのが図13のウィンドウである。67の所蔵先の内①自分の探している巻号を所蔵しているところ②年月③受入れの継続④地域⑤都道府県⑥機関種別⑦サービス種別、で限定することが可能である。

例えば、地域のところに「3」を入れてみる。結果として現われるのが、図14。地域の3というのは関東地方のことらしい。ここに入れるべき数字については、

パソコンの横に検索マニュアルが置いてあるので、それを見てもらっても良いのだが、「F9/メッセージ」とあるのに注目。今度はメッセージのウィンドウが出てくるので、「↓」を押し続けると図15に到達。3が関東地方

図12

現画面   雑誌検索=>簡略表示=>詳細表示=>変遷簡略表示=>変遷詳細表示   全項目表示										
雑誌番号									件数	268件
15	Analecta linguistica =	Информационный бюллетень по языкознанию / Institute of Linguistics of the Hungarian Academy of Science. -- (1971)- <8>								
16	Annual of Ibero-Caucasian linguistics. -- (1974)- <2>									
17	Annual review of applied linguistics. -- 1980(1980)- <9>									
18	Anthropological linguistics / Anthropological Dept., Indiana University. -- 1(1959)- <39>									
19	Anthropological linguistics / Anthropological Dept., Indiana University. -- Microfiche. -- (1959)- <1>									
20	Anthropological linguistics : A publication of the Archives of Languages of the World / Anthropology Department, Indiana University. -- [Reprint ed.]. -- Vol.1, no.1(1959)- <6>									
21	Applied linguistics. -- (1980)- <67>									
22	ARAL = => Annual review of applied linguistics (AA10642699)									
23	Archivum linguisticum : a review of comparative philology and general l									
詳細表示 [雑誌番号:21]   表示位置変更 [雑誌番号: ]										
F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	
雑誌検索		所蔵検索		全項目	印刷	前面面		メッセージ	実行	

図13

現画面   雑誌検索=>簡略表示=>詳細表示=>変遷簡略表示=>変遷詳細表示   全項目表示										
雑誌番号									件数	1件
1 Applied linguistics (AA00069705) <所蔵 67件>										
(1980)-										
London : Oxford Uni										
1	北教大	外国	雑誌番号	{1}						
2	北教大	6+	<							
3	北星大	5-6+	<	巻号	{					
4	弘大	医短分	5-	{						
5	山形大	5-6+	<	年次	{					
6	筑大	1-6+	<19	継続受入	{	+	変遷	{		
7	千大	英英語	1-	地域	{	1-9	変遷	{	13	
8	東京国際大	1-	1-	都道府県	{	1-47	変遷	{		
9	神奈大	1,3-6+	<	機関種別	{	1-4	変遷	{		
10	慶大日	1-6+	<	サービス種別	{	1-3	変遷	{		
11	東外大	1-6+	<	所蔵館名	{					
12	国学院	1-3+	<		{					
変遷メッセージ [雑誌番号: ]   表示位置変更 [雑誌番号: ]   所蔵番号: ]										
F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	
		館名検索	検索語クリア			所蔵検索終了		メッセージ	実行	

図14

現画面   雑誌検索=>簡略表示=>詳細表示=>変遷簡略表示=>変遷詳細表示   全項目表示										
雑誌番号									件数	1件
1 Applied linguistics (AA00069705) <所蔵 5件>										
(1980)-										
London : Oxford University Press										
1	筑大	1-6+	<1980-1985>							
2	千大	英英語	1-16+	<1969-1985>						
3	東京国際大	1-6+	<1980-1985>							
4	神奈大	1,3-6+	<1980-1985>							
5	慶大日	1-6+	<1980-1985>							
変遷メッセージ [雑誌番号: ]   表示位置変更 [雑誌番号: ]   所蔵番号: ]										
該当雑誌・所蔵はすべて表示しました										
F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	
雑誌検索	館室表示	所蔵検索	限定解除	全項目	印刷	前面面	ローカル	メッセージ	実行	

図15

画面 | 雑誌検索->簡略表示->詳細表示->要目簡略表示->要目詳細表示 全項目表示

雑誌番号

1	Abstracts of papers presented at the 1981 Meeting of the Society / American Mathematical Society	1-1
2	Vol.1, no.1(January 1981)	1-6+
3	Providence, R.I.	1-6+
4	1 北大 理 数 学	1-6+
5	2 北大 理 数 学	1-6+
6	3 弘大 理 数 学	1-6+
7	4 東大 理 数 学	1-6+
8	5 山形大 1<1980-	1-6+
9	6 福大 1-6<1981	1-6+
10	7 群大 1-6<1981	1-6+
11	8 千大 1-6<1981	1-6+
	9 千大 1-6<1981	1-6+
	10 千大 1-6<1981	1-6+
	11 千大 1-6<1981	1-6+

メッセージ

【地域指定】  
 ・所蔵館の所在地の地域を番号で指定する  
 ・1:北海道 2:東北 3:関東 (東京都を除く) 4:東海 5:甲信越 6:東海 7:關西 8:中国 9:九州  
 ・複数指定、範囲指定が可能。その場合は複数を指定する。  
 ・複数を指定する場合は「4」と「9」を指定する。

【都道府県指定】  
 ・所蔵館の所在地の都道府県を番号で指定する  
 ・1:北海道 2:青森 17:石川 18:福井 33:岡山 34:広島

要目検索 [雑誌番号: ] 表示位置変更 [雑誌番号:1] 所蔵番号: ]

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10

だと分かる。但し、東京都を除く、とある。都内の機関と限定したいときは、「4」を入力。「複数指定、範囲指定が可能。その場合は論理和演算をおこなう」とあるので、都内を含む関東地方としたければ、「3」と「4」を入力すれば良い。

※ ここまで示してきた例図を、前のページに戻って見てほしい。ほとんどの図に「F9/メッセージ」とあるはず。実は、その所々で「F9」を押せば、本稿でくどくどと述べてきたことが、簡潔明瞭に出てくる仕掛けになっている。

図13に戻る。ウインドウの所蔵館名に「静岡大学」と投入することも可能である。当然のことだが、それは図6で「静岡大学」と入れたのと同じ効果である。

- 人事移動 (配置換: 3.4.1付)
- 坂上光明 (情報管理課長→学術情報センター情報目録課長)
  - 中島通昌 (名古屋大学附属図書館情報システム課長→情報管理課長)
  - 畠山百合子 (和書係長→参考調査係長)
  - 石原良江 (参考調査係長→和書係長)
  - 向坂浩一 (総務係→施設課企画係)
  - 黒柳康子 (教養部教室付→総務係)
  - 真中進 (洋書係→学術情報係)
  - 川崎雅史 (学術情報係→洋書係)

- 法経短期大学部 足立昌勝
- 本 部 佐藤保男
- 附属図書館 金井孝
- 平成3年度図書館業務電算委員会委員
- 館 長 水野秀夫
- 分 館 長 藤田郁夫
- 人 文 学 部 青山茂樹 湯之上隆
- 教 育 学 部 岡崎泰三 堀江雅幸
- 理 学 部 小沼茂樹 中山 潔
- 工 学 部 阿部圭一 盛岡良雄
- 農 学 部 斎藤藤市 鈴木鐵男
- 教 養 部 稲村欣作 田村貞雄
- 電子工学研究所 喜多尾道火児
- 電子科学研究科 福家俊郎
- 法経短期大学部 足立昌勝
- 附属図書館 事務部長 情報管理課長
- 情報サービス課長 学術情報係長

- 平成3年度図書委員会委員
- 館 長 水野秀夫
  - 分 館 長 藤田郁夫
  - 人 文 学 部 青山茂樹 前山 隆
  - 教 育 学 部 岡崎泰三 松本繁樹
  - 理 学 部 中山 潔 野口基子
  - 工 学 部 盛岡良雄
  - 農 学 部 鈴木鐵男 齊藤藤市
  - 教 養 部 西脇征嘉 稲村欣作
  - 電子工学研究所 喜多尾道火児
  - 福田安生
  - 電子科学研究科 福家俊郎 山口十六夫

- 平成3年度「図書館通信」編集委員
- 館 長 水野秀夫
  - 理 学 部 中山 潔
  - 教 養 部 稲村欣作
  - 附属図書館 佐藤和慧 溜淵文子
  - 山本 孝 望月信夫

静岡大学附属図書館報「図書館通信」 第22巻第1号 (通巻96号) 1991年 7月 5日  
 発行所 静岡大学附属図書館 静岡市大谷836 TEL 054(237)1111  
 印刷所 (株)黒船印刷 静岡市登呂二丁目4-25 TEL 054(286)0236